地方創生の突破口は!?

地域の課題を仕事に換えること

地域貢献がビジネスになる時代だから！
ソーシャルビジネスモデルを創る

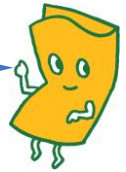
社会課題の解決 ＋ 経済的な成果

地域の絆づくりプロジェクトは!?
産・官・学・連携の生活支援プラットホーム
地域貢献活動から地域の課題を解決

むすびさぽーとclub
一緒に活動しませんか？

地方創生のキーパーソンは新聞販売店

新聞販売店の強みをご存じですか？



未来へ繋ぐために必要

地方創生のキーパーソンは新聞販売店

（活動の理念は、P17 ）

ICTでむすぶまちづくり研究所は
新しい地域の仕組み（指針）を作ろうと集まった
経済・医療・介護・通信・などの有識者が考えました

むすびさぽーとclubは
新聞販売店・公的関係者・地域事業者
連携支援体制をつくって
地域内の皆さんに
安心をお届けします

（活動の詳細は、P7～８）

（協力店のシール）

地域の絆づくりプロジェクト

ソーシャルビジネスモデルを創る

社会の課題をビジネスの手法で取り組む

ミッション（使命、目的）

「長生きを喜べる社会」の実現

地域社会の持続可能な発展に貢献し、
100年後も家族で暮らしたい・働きたい地域をつくる

ビジョン（こんな存在でありた）

新聞販売店・公的関係者・地域事業者が
連携支援体制をつくって地域内の皆さんに
安心を届けたい

バリュー（行動指針）

産・官・学が連携した地域支援プラットホーム
役割り分担で地域の課題を解決！

年々増加している深刻な
消費者トラブル

関係者で役割分担
誰かが**差別化の仕組み**をつくらないと
防げない!!

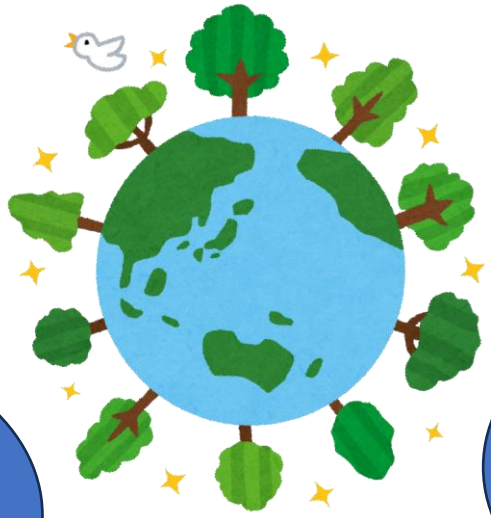
間違った
仕組みを作ると
大変なことに!?

喜んでもらえる仕組みを作っても!?

その仕組みをマネる詐欺まがいな
悪徳事業者が生まれてしまう

産の役割
（事業者）

むすびさぽーとclubの活動から
（地域活動費）をつくる



学の役割
（学生）

新しいまちづくりに積極的に参加
（地域の多くの関係者との繋がり）

官の役割
（公的関係者）

公平性の担保、安心・安全の確保
（連携体制でトラブルの抑制）

むすびさぽーとclubは
産・官・学が連携した地域支援プラットホームで
地域の課題を解決します

先ずは！　地域の３つの課題から解決

住み慣れた地域で
安心して
暮らし続けるために!?

まちづくりNPOが中心となって
産・官・学(若者や女性)　連携で
新しい支援体制を作ります

若者や女性が
気軽に参加できる
「地域の支援体制」を
作ります

１、生活支援サービス スタート

新聞販売店の
事業モデルをつくる

２、桃太郎から 犬山を盛上げる

桃太郎ミュージアムを
つくる

３、バイオコミュニティで イノベーション

・農福連携、耕作放棄地対策
・防災・連携モデル　他
（一次産業への貢献モデル）

東海バイオコミュニティ
Tokai BioCommunity
連携予定

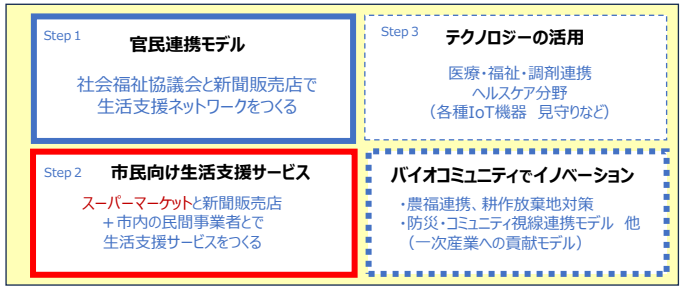
東海バイオコミュニティ

農福連携モデルを
つくる

むすびさぽーとclub（本部）を
ソーシャルビジネスの場として提供
犬山に開設（予定）

（まちづくりDX）

支援体制に協賛頂いた費用で
まちづくりNPOと住民が主体的なまちづくり
町内会などを巻き込んだ地域の
支援体制を作ります



地方創生 ＝地域が稼ぐ仕組みづくり
＝自らが稼ぐひとを育てる

Ecoシステムが地域の仕組みを換える

むすびさぽーとclubの活動は

地域の「課題解決」のために関係者の皆さんから
ご支援（協賛・寄付）いただいた費用で
新しい地域の支援体制を作ります。

私たちのテーマは、共創 (Co Creation)
地域が直面する喫緊の課題を解決するための、地域の課題を地域内で解決できる、
産官学が連携したプラットホームの立上（むすびさぽーとclub）

（将来的に立上げメンバーは、行政区毎のむすびさぽーとclubの運営を行います）

むすびさぽーとclub
一緒に活動してくれる同志を募集します
私たちと一緒に活動しませんか？

1、生活支援サービス スタート

購読者さん向けの生活支援サービス スタート

ちょこっと
まごころ サポート

新聞販売店が
困りごと情報を
「集めます」
「繋ぎます」

購読者様向けの
生活支援サービスを
考えました

新聞販売店が
できない「困りごと」は
市内のパートナー事業者に
お願いします。

むすびさぽーとclub
（市内のパートナー事業者）が
困りごとを「相談します」
「集めます」「繋ぎます」
「解決します」

(協力店のシール)

新聞販売店とパートナー事業者連携で地域活性化

（協力店のぼり）

新聞販売店ができること

これまでやってきたことの延長線上でできる仕事は何か？

ちょこっと
まごころ　サポート

購読者様向けの
生活支援サービスを
考えました

先ずは「ゴミ出し」や「電球の散り換え」ちょこっとした
「買い物代行」レベルから始めています。

将来的には、新聞販売店では対応できないような困りごとは、
市内のパートナー事業者にお願いします。

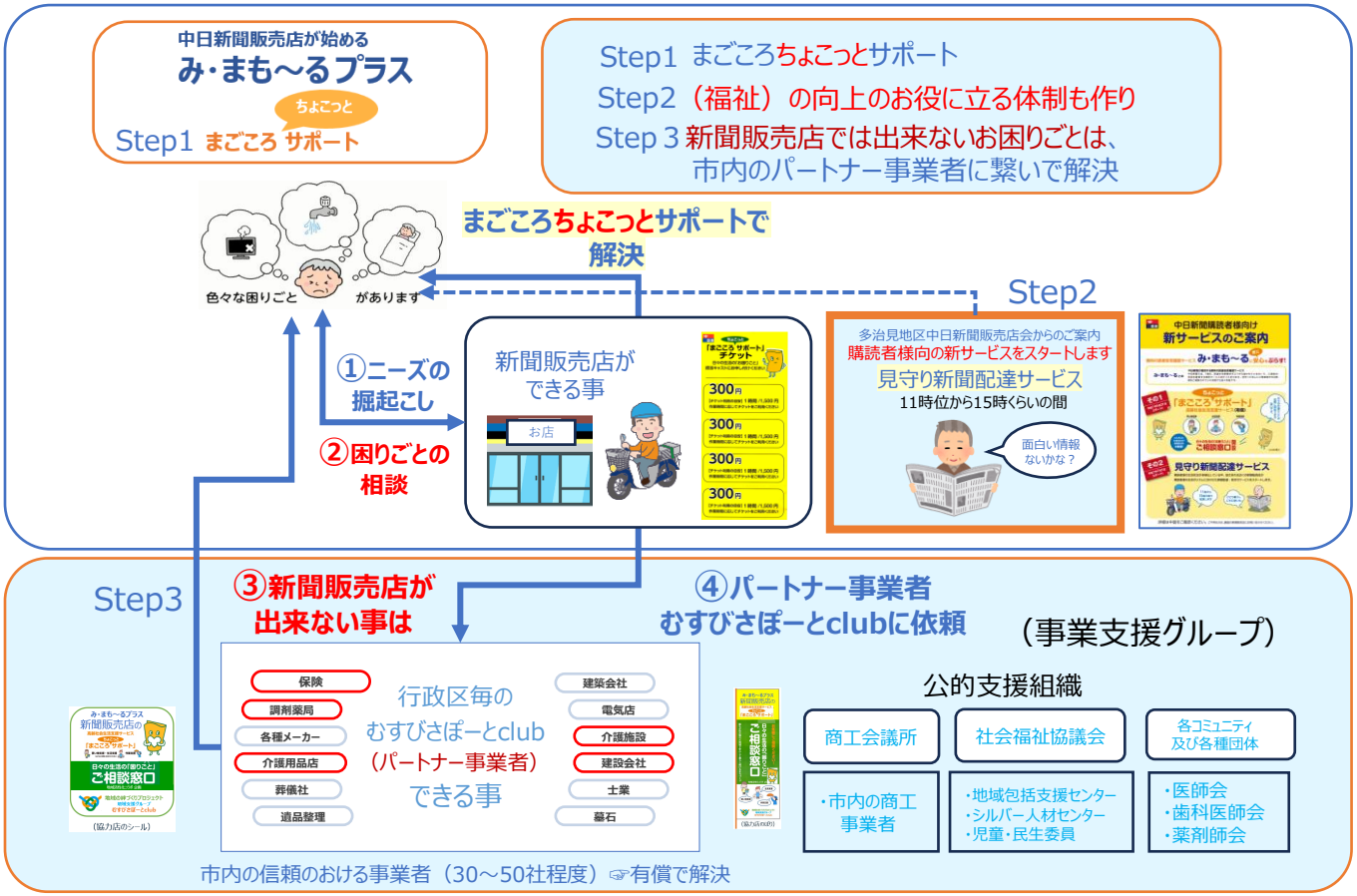
市内のパートナー事業者が支援できること

むすびさぽーとclub（行政区毎の体制をつくる）

パートナー事業者でつくる地域の絆づくりプロジェクト
新聞販売店とのネットワークで地域支援を始めます。

地域貢献活動から、地域が「稼ぐ」仕組みをつくります

中日新聞販売店の販売ネットワークを活かした産・官・学の共通の基盤となるプラットフォーム

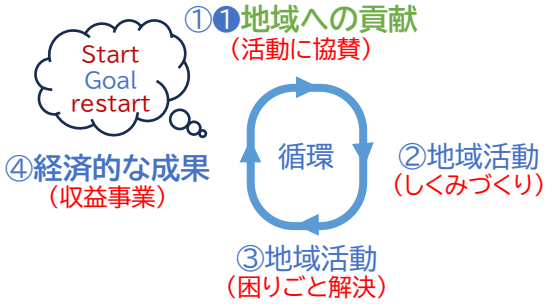


新聞販売店や公的関係者ができない「困りごと」は
市内のパートナー事業者にお任せください！

Ecoシステムが地域の仕組みを換える

❶地域への貢献	②③地域活動	④経済的な成果
（活動に協賛）	（しくみづくり） （困りごと解決）	（収益事業）

循環型支援体制（Ecoシステム）
中立の仕組みをつくるための相互扶助
①☞②☞③☞④🔁❶☞・・・



むすびさぽーとclubの活動は

地域の「課題解決」のために
関係者の皆さんから
ご支援①（協賛・寄付）いただいた費用で
②③④新しい地域の支援体制を作ります。

生活支援サービスが今注目を集める

日常生活を支えるサービスの需要が急拡大しています

日本では少子高齢化とライフスタイルの変化により、生活支援サービスのフランチャイズが強い関心を集めています。

通常のフランチャイズモデル

（加盟企業の利益追求型）

フランチャイズビジネスモデル
フランチャイザー（本部）が
・ブランド、商品、経営ノウハウなどを
開発し提供する

（本部） 1 ： 1 （加盟店）

フランチャイジー（加盟店）単独事業
・ブランドやノウハウを利用して事業を行う
（加盟金・ロイヤリティを支払う）

この他に、ロイヤリティ
20万円/月 おそうじ本舗

仕事は、自社営業

リピート率の高いビジネスモデルで高収益！安定的に収入が上がる

- 未経験者でも起業OK、低リスクで大きな利益率を実現できる
- 高齢者に特化したサービス代行、リピート率90%超の高い継続率
- 集客フォローが充実！長期安定ビジネスを実現

（家工房の開業費用：目安）Hpより

初期費用
- 加盟金/1,430,000円（税込）
- 研修費/440,000円（税込）
- 開業パック/990,000円（税込）
- スタートダッシュパック/363,000円（税込）
- 保証金/300,000円（税不明）
- 合計/3,523,000（税込）

ソーシャルフランチャイズビジネスモデル

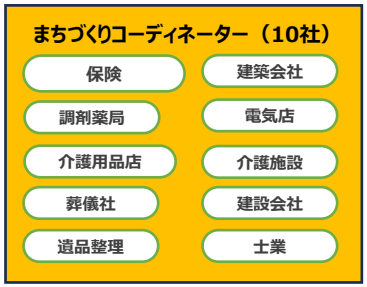
地域の利益追求型

むすびGroupは、地域支援プラットホーム（加盟店）をつくります

むすびさぽーとclub
加盟店
（立上げ準備室）

むすび
Group

＋



（幹事） 1 ：10 （加盟店）

地域の関係者でフランチャイジー
（加盟店）

（１加盟店の活動費）

初期費用
•加盟金/110,000円（税込）
•研修費/込み
•開業パック/込み
•保証金/込み
•合計/110,000（税込）

活動にご支援（協賛・寄付）頂いた費用は、事務局経費の他は、
地域の課題解決の仕組みづくりと地域活動費用に使います

この他に、ロイヤリティ
110,000円/年

仕事は、地域の関係者

地域支援活動を
地域の関係者が連携して
活動をする体制

むすびさぽーとclubの活動は

地域の「課題解決」のために関係者の皆さんから
ご支援（協賛・寄付）いただいた費用で
新しい地域の支援体制を作ります。

活動費
まちづくり参加者
（協賛）者の30%を
活動費として運用

（地域貢献グループ）

むすびさぽーとclub
加盟店
（立上げ準備室）

むすび
Group

＋

行政区毎：
むすびさぽーとclub

新聞
販売店

むすび
Group

まちづくり
NPOなど

＋

市内の
信頼のおける事業者
（30～50社程度）

（事業支援グループ）

公益的支援組織

商工会議所	社会福祉協議会	各コミュニティ及び各種団体
・市内の商工事業者	・地域包括支援センター ・シルバー人材センター ・児童・民生委員	・医師会 ・歯科医師会 ・薬剤師会

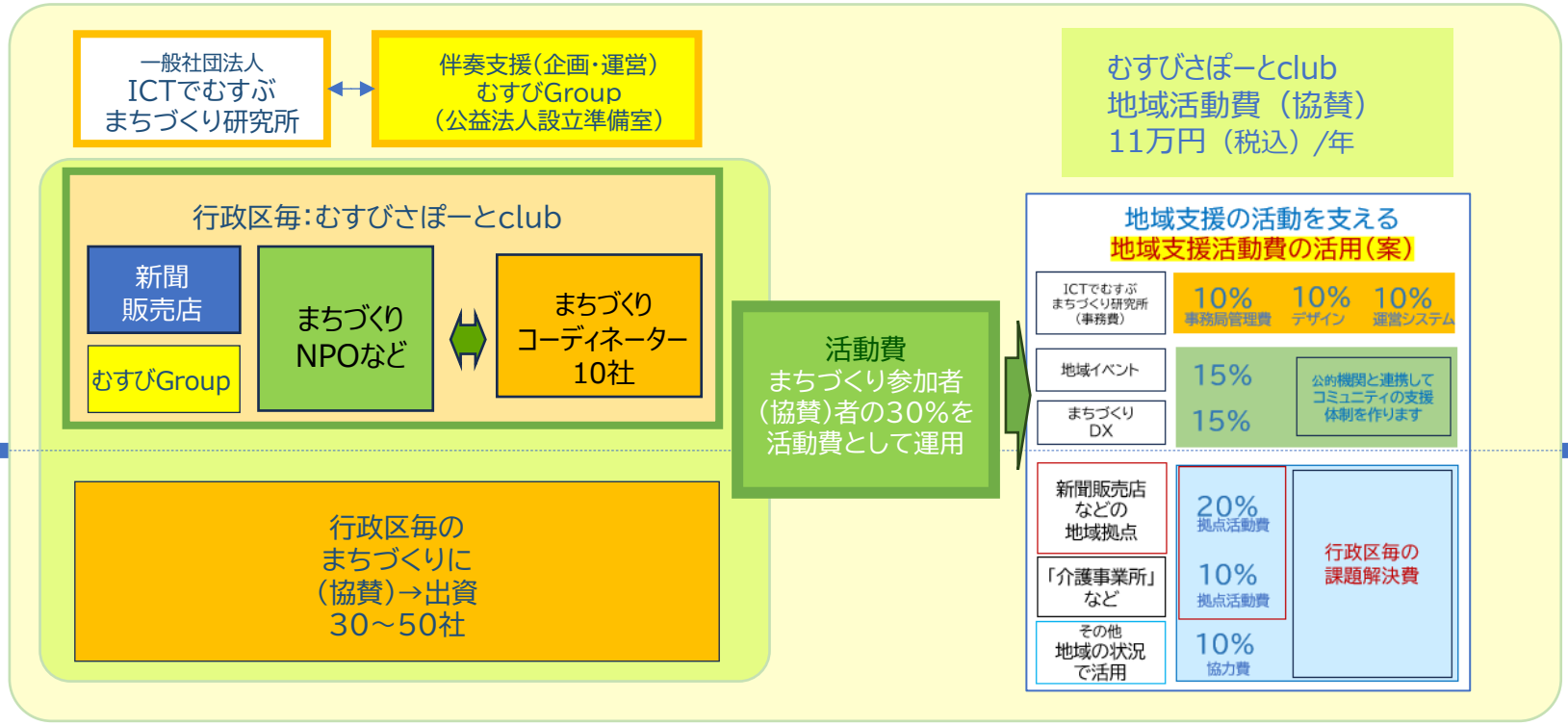
まちづくりコーディネーターの役割りと活動費（詳細）

まちづくりコーディネーターとは、
地域のまちづくり活動を
支援する専門家です。
地域の課題は多様です。

住民が主体的にまちづくりを進めるための、
組織づくり、プラン策定、活動の
進め方などに関するアドバイスや
支援を行います。

むすびサポートclub

活動費（行政区毎）として、
まちづくりの参加者（協賛費）の
30%を地域活動費として適用



活動にご支援（協賛・寄付）頂いた費用は、事務局経費の他は、
地域の課題解決の仕組みづくりと地域活動費用に使います

むすびさぽーとclub　活動の手順

むすびさぽーとclub
活動の趣旨に賛同いただいたら？

（むすびさぽーとclub　入会申込）

検討

活動は、地域の「課題解決」のために、関係者の皆さんからご支援（協賛・寄付）いただいた費用の一部で地域の支援体制を作ります。

ボランティアで参加

会員

事業支援グループとして参加

入会申込

むすびさぽーとclub
地域支援メンバーとして参加

まちづくり
コーディネーター
として参加

1、「まちづくりコーディネーター」として
お住いの地域で支援体制づくりにご参加ください
2、担当行政区を決め、設立準備室を立上
・準備室メンバー募集（10社）
3、活動開始　各行政区30～50社で活動

まちづくりコーディネーターが
行政区毎に、設立準備室を立上
※活動費は、
まちづくりの参加者（協賛費）の
３０％を適用

（協力店のシール）

（協力店のぼり）

Win-Winの支援体制
関わって頂く皆さんが広報部隊

協力店シール・のぼり・チラシ
設置（配置）場所（予定）

むすびさぽーとclub　Hp作成
ポータルサイトにて情報発信
多治見＝MYTTLINE

・中日新聞販売店
・協賛企業（パートナー事業者）

・コミュニティー（地域の生活の拠点）
・介護施設
・調剤薬局（ドラッグストアー）
・病院など

・地域総括支援センター（案）
・公共の施設（案）

ご協賛の販促物

（設置できる場）
・協賛企業
・公共のなどの窓口

（協力店のシール）

（協力店のぼり）

（協賛企業のチラシ）・・営業用
折込広告　4回／年（予定）

（新聞販売店のチラシ）

むすびさぽーとclubで生れる
地域の支援体制

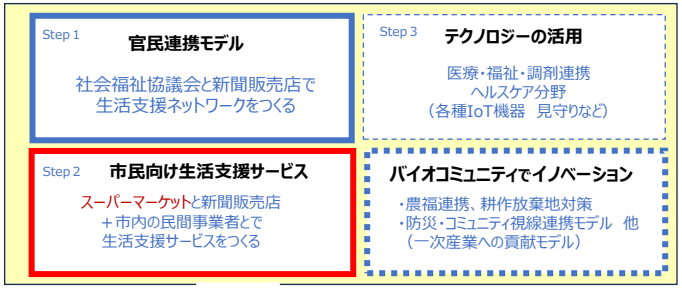
住み慣れた地域で
安心して
暮らし続けるために!?

まちづくりNPOが中心となって
産・官・学(若者や女性)　連携で
新しい支援体制を作ります

若者や女性が
気軽に参加できる
「地域の支援体制」を
作ります

（まちづくりDX）

支援体制に協賛頂いた費用で
まちづくりNPOと住民が主体的なまちづくり
町内会などを巻き込んだ地域の支援体制を作ります



むすびさぽーとclub（本部）を
ソーシャルビジネスの場として提供
犬山に開設（予定）

産・官・学連携の支援体制が地域を変える

ICTでむすぶまちづくり研究所

REC PROJECT

所長 石田芳弘

「なぜ! エコシステムなのか!」

ICTでむすぶまちづくり研究所 所長 石田芳弘
犬山祭保存会会長
長生きを喜べる社会をつくるためには、相互扶助が生まれるコミュニティが必要だと考えます。
インターネットという破壊的なイノベーションによる生活様式の変化は、超高齢社会に多くの課題を生み出しました。それが、無線社会と言う社会現象です。
「祭り」は「相互扶助:共存共栄」の原点。
共同体システム=エコシステムは、「共感や絆、思いやりという共同体の助け合いの原理が埋め込まれている」から、現代社会における役割があり「保存するだけでなく、地域社会のために役立たせるべきだ」と考えています。

私は「長生きを喜べる社会」という言葉が好きです

国立長寿医療研究センター名誉総長　大島伸一
この言葉は、小泉元首相が二期目の所信表明演説で使用された言葉です。小泉首相は「長生きを喜べる社会」とはどんな社会のか、その時もその後も詳しく触れることなく政権を終え、私には不満でしたが、実際にはその答えは当時も今も誰も解っていないというのが正解でしょう。
日本に生まれ育ち、そして老い死んでゆく、より多くの方が人生を終えるときに、いろいろあったが「長生きしてよかった」と言えるような社会とはどんな社会なのか。
持続可能な地域社会は、多様な関係者のみな様のご協力と相互連携の体制、新たな取組でご自身の強みを発揮していただき、地域支援活動などの費用を応分のご負担でお願いすることができれば、持続可能なコミュニティが生れると思っています。

名誉総長 大島伸一

「長生きを喜べる社会」をつくるためには、公的関係者・コミュニティ・民間事業者が連携できる支援体制で、医療・調剤・福祉関係者と一緒に、地域ごとに「信頼のおける関係者」が運営する、気軽に相談できる支援体制が必要です。

ICTでむすぶまちづくり研究所は
新しい地域の仕組みの指針を作ろうとあつまった経済・医療・介護・通信・などの有識者団体です。

多治見商工会議所様へご提案

中日新聞多治見販売店会
むすびGroup

共創から生まれる
「長生きを喜べる社会」の実現に向けて

中日新聞販売店の配達ネットワークを活かした
高齢化社会に対応する新サービス

社会課題の解決 ＋ 経済的な成果

スーパーマーケット＋新聞販売店とのコラボで
持続可能な地域社会を
バリューチェーン「価値の連鎖」と
サプライチェーン「供給の連鎖」の組み合わせ

全国のモデルとなる仕組み構築を
多治見でチャレンジ

信頼のおける関係者で、地域内で経済を回す仕組みをつくります

Ecoシステムから生まれる
共存共栄の支援体制

地域貢献活動を地域の皆さんへ！
折込広告でお伝えします。

ご協賛頂いた法人さんと一緒に街の活性化
（無償　４回/年を予定）

体制が出来上がった時のパンフレット（案）

むすびさぽーとclubの地域の絆づくりプロジェクト
本部支援体制を一緒につくりませんか？

まちづくりコーディネータ　募集中

（活動の詳細はP15 ）

詳しくは、お問合せください。

超高齢社会の課題の解決は!?

むすびGroup（ICTでむすぶまちづくり研究所）は
どこかのイチ組織が頑張るだけでは追いつかないから、
新しい地域のカタチを創ろうと集まった
専門家集団（産・官・学・医・福）などの関係者が
地域のみんなが参加できる地域の支援体制
「むすびさぽーとclub」を進めています。

官民連携プラットホーム "地域のむすびプロジェクト"
むすびさぽーと CLUB

ICTでむすぶまちづくり研究所は
新しい地域の仕組みの指針を作ろうとあつまった
経済・医療・介護・通信・などの有識者団体です。
一般社団法人として設立予定

むすびさぽーとclub
地域支援事務局
特定非営利活動法人ゆめはーと
〒463-0014
住所　名古屋市守山区城南町15番11号
プロジェクト事務局
Tel:070-4497-0111

地域の絆づくりプロジェクト
むすびGroup（企画・運営）
〒461-0004　名古屋市東区葵三丁目1-23-3
TEL 052-930-0055
ICTでむすぶまちづくり研究所
一般社団法人化　設立準備室